

## これまでのプロデューサー会議で提案された主な事項について

### JAPANブランド事務局

#### (提案)

- プロデューサーまで情報が行き渡るツールが必要ではないか。また、有効な情報を蓄積して共有すべきではないか。

(現在の検討状況)

- ・ JAPANブランドウェブサイトにてメーリングリスト機能を追加。JAPANブランド関係の情報が直接プロデューサー等へ行き渡る仕組みを整備。
- ・ 今後は、メーリングリスト登録者の拡充やメールマガジンとして流していく情報の内容について検討が必要。

#### (提案)

- JAPANブランド事業全体として戦略的に展示会へ出展していくことが必要ではないか。(海外展示会への出展も検討してはどうか。)

(現在の検討状況)

- ・ これまでJAPANブランド事業全体として以下の展示会に出展。
  - ※2月2日～4日 リビングデザインセンターOZONE  
JAPANブランド事業全体として初めての展示会出展。
  - ※6月25日～30日 東京デザインセンター  
国内外に販路を持つ流通関係者、商品開発コンサルタント等との商談による販路開拓を目的に展示を実施。
  - ※10月31日～11月4日 東京デザイナーズウィーク  
会場集客8.5万人のTDWに出展し、JAPANブランド事業の認知度向上を目指すための展示を実施。
  - ※2月5日～8日 東京ギフトショー(予定)  
国内外の流通関係者に対し、さらなる流通を促す機会とするための展示とする。
- ・ これら展示会の評価を行い、HPにて公表予定。出展効果を見極めながら20年度展示会出展について検討を行う。

#### (提案)

- 3年目を迎えたプロジェクトは、基本的にビジネスとして独り立ちしていくべきである一方、現実的には急に支援をなくすと積み上げたものが無に帰してしまう。本格的な海外展開は困難。更なるブランド強化のための産地間連携の推進等の課題あり。

(現在の検討状況)

- 平成20年度に制度改正を行い、「先進的ブランド展開事業」を新設。海外展開や産地間連携など先進的な取り組みを行うプロジェクトを選定し、他のプロジェクトやJAPANブランド事業に参画していない中小企業が活用できる成功事例として広く提供を行う。
- 「卒業」プロジェクトについては、引き続き全国団体が行う展示会やセミナーなどへの参加する方向で検討。
- 情報提供や人材マッチング等のソフトインフラについてどのような支援ができるか総合的に検討。